



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp
令和6年9月2日(月)発行 第6号

子供たちが主役となる2学期

校長 相賀 直

長い夏休みも終わり、2学期が始まりました。この夏休み中は、宮崎県沖で大きな地震があり、初めて南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表されたり、各地での大雨や台風10号が日本列島を縦断したり、35度以上の猛暑日が長く続いたり、日常をおびやかすような出来事がたくさんありました。そのような中で充実して過ごすことができたでしょうか。部活動などで活躍した人もいました。普段できないことに取り組んだ人もいたことでしょう。

2学期は、コロナ前の状態に戻して実施する文化祭や宿泊行事・校外学習などがあります。準備や事前学習を経て、本番を経験することで子供たちは大きく成長します。子供たちが主役となり、共に成長していく2学期としましょう。

地域の皆様、近隣市教育委員会・学校の皆様、関係諸機関の皆様、日頃から本校の教育に御理解と御協力を賜りましてありがとうございます。2学期も引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

小学生ボッチャ競技会ブロック予選

主幹教諭 谷川 裕子・石川 祐介

8月24日(土)に、本校体育館にて、第2回小学生ボッチャ競技会のブロック予選が行われました。本校の両部門小学部と府中市立小柳小学校で合同チームを編制し、3チームが出場しました。夏季休業期間中の合同練習会で親睦を深めたチームメイトと共に、「〇〇さん、ここを狙って。」や、「自分からは狙えないけど、そっちはどう?」などの言葉掛けに応じてボールを投げたり、言葉やジェスチャーで返事をしたりしてコミュニケーションを取っていました。ジャックボール(白い球)の近くにボールを投げると、周囲から拍手が起き、嬉しそうな笑顔が見られました。

9月16日(月・祝)に渋谷区スポーツセンターで行われる本選には、府中ユナイテッドCチームが出場します。惜しくも負けてしまったチームの分も楽しんできてほしいと思います。



問合せ

御連絡は、下記までお願いいたします。

◇平日(午前8時30分から午後6時まで) **042-367-2511** (学校の代表番号)

全国障害者スポーツ大会の代表選手に選ばれました

10月に開催される「第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」」のバスケットボール(知)の関東代表として東京都が参加します。東京代表の12名の選手の中に、本校、知的障害教育部門高等部2年生の松岡修平さんが選ばれました。この夏は、合同練習にも参加して練習に励んでいます。応援をよろしくお願ひします。



第9回全国ボッチャ選抜甲子園(決勝大会)準優勝

主任教諭 中村 嘉人

8月10日(土)墨田区総合体育館にて、第9回全国ボッチャ選抜甲子園(決勝大会)が行われました。全国の特別支援学校から43チームが参加し、予選を勝ち抜いた16チームで決勝大会に挑みました。本校からは、肢体不自由教育部門高等部3年生の3名がけやっきーずとして出場し、見事準優勝を勝ち取ることができました。クラスメイトでもある3名は、練習のときからコミュニケーションを、よく取っていました。積み上げたチームワークで、本番も力を発揮できた大会でした。

たくさんの応援誠にありがとうございました。



ウェルビーイング実現のためのカリキュラム・マネジメント

主任教諭 松島 宏樹

今年度はこれまでのQOL研究の成果を引き継ぎ、将来社会の中で生きていく児童・生徒の姿をイメージしながら、「ウェルビーイング」をキーワードに研究活動を進めています。本校の教育の基盤である教育課程について、より良い教育内容の設定や組み合わせを、限られた授業時数の中でどう組み立てていくか、年間指導計画や単元計画にどう取り入れていくかといったカリキュラム・マネジメントが一つの大きな柱としてあります。

B部門ではこのカリキュラム・マネジメントの一環として、児童・生徒の活動の成果を3つの観点で適切に評価できるように、昨年度までの教育課程の改善に引き続き、年間指導計画の見直しを図っています。個別面談において学級担任から各教科等の目標を3観点の視点で説明があったかと思えます。3観点とは御存じのとおり、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」です。授業で学んだ知識、できるようになったことを生かし、考えたり表現したりする活動をとおして、日常生活の中で使える力となっていきます。その積み重ねが将来のウェルビーイングにつながると考えています。これまでも3観点による目標設定や評価をしてきましたが、児童・生徒の学習活動をより充実させるために、7月の研究会では、3つの観点による評価規準の作成について、学び直しをしました。身に付けた力をどう日常生活の中で発揮していくのか、3観点による目標設定と評価規準を設定することで、年間指導計画に明確に示せるようにしていきます。

今年度は小学部は国語・算数、中学部及び高等部については、国語と数学において、児童・生徒の日々の学習活動を記録すること、また、学習指導要領に示されている指導内容を照らし合わせることをとおして、令和7年度の年間指導計画を作成します。2学期からは各授業グループに分かれて、学習内容を整理する研究活動を行う予定です。

令和6年第1回学校保健委員会

養護教諭 山本 笑未

7月25日(木)に学校保健委員会主催の講演会を行いました。当日は、学校医の先生方、保護者の方、教職員が参加しました。今回は、日本小児皮膚科学会に御所属である、森こどもクリニックの森蘭子先生が「何でもお答えします ～小児科・皮膚科お悩み相談～」をテーマに御講演してくださいました。

講演会では、子どもの皮膚の病気について、アレルギーの病気について、便秘・偏食についてなど、様々な分野について丁寧に説明してくださいました。図や写真を活用しながらの説明が分かりやすかったという御感想が多く寄せられました。また、学校医の先生方からも御好評をいただきました。

今回お話いただいたことを、児童・生徒の疾病の早期発見、早期対応をはじめとする学校保健活動に活かしていきます。

本校の学校給食について

栄養士 面田 美樹

本校では、食べる機能の発達段階に応じ、普通食、後期食、中期食、初期食の計4形態の給食を提供しています。安全に食べられることや、食べる機能を促すことを目的として、軟らかさや大きさ等に配慮し、各形態に応じた調理を行っています。また、年中行事にちなんだ給食や、旬の食材や郷土料理を取り入れた給食等、児童・生徒の学びにつながるような給食の提供を心掛けています。

令和6年7月に提供した給食の写真を一部御紹介いたします。二学期以降も引き続き、安心・安全でおいしい給食の提供に努めてまいります。

■ 7月9日 献立名：牛乳、胚芽パン、カラंगा、ツナと野菜のサラダ、ブルーベリーヨーグルト



■ 7月12日 献立名：牛乳、とうもろこしご飯、さばのカレー焼き、野菜の梅おかか和え、冬瓜のすまし汁



※ 普通食はB部門中学部・高等部量、後期食・中期食・初期食はA部門小学部低学年量の写真です。